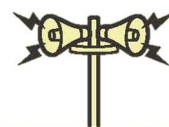




PRESS RELEASE



令和8年9月17日
防災危機管理課

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施について

弾道ミサイルが発射された場合の住民への情報伝達や、取るべき行動の理解促進を目的として、国、県、久万高原町の共同による弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を次のとおり実施しますのでお知らせします。

- 日時：令和8年10月10日（土）9：00～11：30分頃
※小雨決行。荒天時は中止。中止の判断は、前日の16時及び当日の午前6時に行います。
- 訓練実施場所：久万高原町 久万町民館（緊急一時避難施設）
- 訓練想定：X国から弾道ミサイルが発射され、我が国に飛来する可能性があると判明
- 主要訓練項目 ○模擬のJアラート音声を防災行政無線で放送することにより住民への情報伝達を実施
○屋内外にいる住民等が久万町民館等へ屋内避難又は状況に応じた避難行動を実施
- 訓練主催者：内閣官房、消防庁、愛媛県、久万高原町

<取材対応>

報道機関の皆様には、8時15分から受付、8時20分から説明を行いますので、時間までに久万町民館2階の議会会議室へお越しください。

なお、訓練終了の挨拶後、11時30分頃からぶら下がり取材に対応します。



防災行政無線
（屋外スピーカー）



【担当（問合せ先）】

防災危機管理課 長野・渡部・池田
（電話番号：089-912-2317）

実施内容

○ 防災行政無線による情報伝達（模擬のJアラート音声）

- ・ミサイル発射情報（避難の呼びかけ）9時4分頃
- ・ミサイル通過情報（避難の呼びかけ解除）9時10分頃



防災行政無線により、久万高原町全域にミサイル発射情報を伝達します。国民保護に係る警報のサイレンを吹鳴し、「建物の中、又は地下に避難してください。」と放送することで、住民に身を守る行動を促します。

○ 参加者の避難行動について

- ・**メイン会場：久万町民館** 訓練参加者 約60名（自主防災組織、防災士会等）

Jアラートによる情報伝達を受けた後、久万町民館の2階へ避難します。町民館内にいる場合は、カーテンを閉め、窓から離れるなど、身の安全を確保する行動をとります。

- ・**メイン会場以外のエリア**

あらかじめ避難先を指定せず、Jアラートによる情報伝達を受けた際に、各自が周囲の状況に応じて適切な避難先を判断し、避難行動をとります。

【避難行動の例】



コンクリート造りの
頑丈な建物へ避難



物陰に身を隠す
または地面に伏せ
頭部を守る

○ 防災講話「国民保護とは？」（10：00～10：50）

久万町民館で総務省消防庁職員による「国民保護」に関する防災講話を実施します。講話は各支所（面河支所、美川支所、柳谷支所）にも同時配信します。

※各支所30名程度参加予定（自主防災組織のほか、個人での参加も可能）

○ 振り返り・講評

訓練参加者を対象にアンケートを実施し、訓練内容を振り返ります。
国・県・町それぞれから講評があります。

▶ タイムスケジュール

時刻	項目	メイン会場	その他エリア
9:00	訓練開始		
9:00	（ミサイル発射）		
9:04	防災行政無線により住民へ伝達 ▶ 発射情報（避難の呼びかけ）	久万町民館へ避難	各自で避難行動
9:10	▶ 通過情報（避難解除）	避難解除	避難解除
9:15	訓練終了	町危機管理室長による講話	各支所へ移動
10:00	防災講話「国民保護とは？」	消防庁職員による講話	オンラインで視聴
10:50	振り返り	参加者アンケート	参加者アンケート
11:00	講評・訓練終了の挨拶	国・県・町から講評等	オンラインで視聴
11:30	報道機関対応（ぶら下がり取材）		
11:40	終了		